

第 50 回 高輪築堤調査・保存等検討委員会【部会①】

開催記録

1 開催概要

- 日 時：令和6年12月4日（水）10：00 ～ 11：30
- 場 所：TKP ガーデンシティ PREMIUM 品川 ホール5A
- 出席者：

表 出席者一覧

委員長	・ 谷川 章雄氏（早稲田大学名誉教授）
委員	・ 老川 慶喜氏（立教大学名誉教授） ・ 小野田 滋氏（鉄道総合技術研究所 アドバイザー） ・ 古関 潤一氏（東京大学名誉教授・ライト工業株式会社 R&D センター テクニカルオフィサー）
オブザーバー	・ 文化庁文化財第二課 史跡部門 ・ 港区教育委員会事務局 教育推進部 図書文化財課 ・ 港区街づくり支援部 ・ 東京都 教育庁 地域教育支援部 管理課 ・ 東京都 建設局 道路建設部 鉄道関連事業課 ・ 東京都 交通局 建設工務部 計画改良課 ・ 独立行政法人都市再生機構 東日本都市再生本部 都心業務部 ・ 鉄道博物館 学芸部 ・ 東日本旅客鉄道株式会社 グループ経営戦略本部 品川・大規模プロジェクト推進部門 ・ 東日本旅客鉄道株式会社 マーケティング本部 ・ 東日本旅客鉄道株式会社 構造技術センター ・ 京浜急行電鉄株式会社 鉄道本部 ・ 京浜急行電鉄株式会社 生活事業創造本部
事務局 東日本旅客鉄道(株) 京浜急行電鉄(株)	・ 東日本旅客鉄道株式会社 グループ経営戦略本部 品川・大規模プロジェクト推進部門 ・ 東日本旅客鉄道株式会社 マーケティング本部 ・ 東日本旅客鉄道株式会社 建設工事部 ・ 京浜急行電鉄株式会社 鉄道本部 ・ 京浜急行電鉄株式会社 生活事業創造本部 他
サポート	・ パシフィックコンサルタンツ株式会社

- 当日配布資料

1) 議事録確認

- ・ 次第
- ・ 資料1：第49回委員会（11/6）全体会議事録案

- ・ 資料2：第49回委員会（11/6）部会①議事録案
- ・ 資料3：第49回委員会（11/6）部会②議事録案
- ・ 資料4：第49回委員会（11/6）部会③議事録案

2) 部会①

- ・ 次第
- ・ 資料1：TAKANAWA GATEWAY CITY 第Ⅱ期エリア（5・6街区）の確認調査報告

2 議事要旨

2.1 議事録確認

(1) 開会

- 第 50 回 高輪築堤調査・保存等検討委員会を開会する。(事務局京急)

(2) 議事録確認

1) 第 49 回委員会 (11/6) 全体会の議事録確認

- 修正指摘なし。(委員一同)

2) 第 49 回委員会 (11/6) 部会①の議事録確認

- 修正指摘なし。(委員一同)

3) 第 49 回委員会 (11/6) 部会②の議事録確認

- 修正指摘なし。(委員一同)

4) 第 49 回委員会 (11/6) 部会③の議事録確認

- 修正指摘なし。(委員一同)

2.2 部会①

(1) 開会

- 第 50 回 高輪築堤調査・保存等検討委員会の部会①を開会する。(委員長)

(2) TAKANAWA GATEWAY CITY 第Ⅱ期エリア (5・6 街区) の確認調査報告

- 資料 1 について説明する。(港区)

<説明概要>

- 資料 1-1 は、5・6 街区の確認調査で行ったトレンチ 9 箇所の成果をまとめている。
- 資料 1-2 には、トレンチ 7 で検出された張り出し遺構について掲載した。
- トレンチ 7 で検出された張り出し遺構の一部から木材の一部が確認され、4 街区の信号機土台部で確認された木材を十字に組んだ基礎構造の一部と類似している。今後は文献資料等から、この位置に構造物があったのかどうかを確認する段階に入る。
- 本日の報告内容を、12 月の「『国際交流拠点・品川』における高輪築堤等の価値・あり方に関する有識者検討会議」において報告してもらいたい。(事務局 JR)

→ 港区が実施している確認調査であり、見学会の資料としてオープンになるものは問題ないと思う。あとは港区の判断となるがいかがか。(委員長)

← 公開資料を説明することは可能である。(港区)

- 資料 1-3 は大正 7 年の図面であり、埋め立てが進み構内拡張後であるので、信号機位置は開業当初から変わっているだろうと思われる。大正 3 年に東京駅が開業し、大きく鉄道運行の様相は変わっている。この資料は距離の目安程度の扱いになると思う。(小野田委員)
- 資料 1-3 について、図面に示された各種線路の線形が開業期の単線の線形とどう重なるかわからないので整理してほしい。図面内にも色々と参考となる情報があるかもしれない。(古関委員)
- トレンチ 1・2 は、海側石垣の裾の部分と群杭を確認する予定であった。トレンチ 3～7 は深く掘るにはトレンチの幅が必要になるので浅くならざるを得ず、裏込め石を確認しようと進めてきた。私は、1～4 街区の調査実績を根拠として裏込め石が残っていれば、下部の石垣は残っているものと考えている。(委員長)
- 開業期・複線化期の盛土を確認するためにトレンチ 8・9 を開削し、確認することができた。連立 1 工区では複線化期の盛土を確認できているため、おそらく築堤の幅を確定できると思う。(委員長)
- 最終的に調査報告をまとめてもらい、それを基に委員会で協議を進める。(委員長)

(3) その他

<部会①・部会②・部会③終了後>

- 最後に文化財行政からコメントをもらう。
 - ← 現地見学会について、港区ほか関係する皆様よろしくお願いします。(文化庁)
 - ← 現地見学会についてよろしくお願いします。調査成果が蓄積されてきたので、埋蔵文化財包蔵地の周知化について、引き続き港区と協議を進めていきたい。(東京都)
 - ← 前回委員会で、11 月 8 日(金)に確認調査速報をホームページにて公開すると発言したが、関係各所との情報共有に時間を要し、結果として5日後の 11 月 13 日(水)となったことをお詫びする。現地見学会は 12 月 8 日(日)、9 日(月)の 9 時から 15 時で開催する。12 月 3 日(火)には先行して報道機関向けに事前公開を実施し、既に NHK で報道もしていただき、昨日の時点で数件の問い合わせがあった。調査主体として港区が主催しているが、所有者である JR のご協力があってこそで、限りなく共催に近い見学会であると認識している。改めて感謝申し上げます。また、見学者の待機場所等を提供いただいた京急、UR にも感謝申し上げます。当日お越しいただく方や従事される方は寒さ対策をお願いします。(港区)

(4) 閉会

3 議事録

3.1 議事録確認

(1) 開会

- (事務局京急) 第 50 回 高輪築堤調査・保存等検討委員会を開会する。
- ・ 挨拶
 - ・ 資料確認
 - ・ オンラインの案内
 - ・ 次第説明

(2) 議事録確認

- (事務局京急) 4つの議事録について修正等の指摘はあるか。修正等があれば委員会終了までに連絡をいただきたい。
- (事務局京急) 意見がなければ、議事録確認を終了する。

3.2 部会①

(1) 開会

- (委員長) 次第に沿って進める。

(2) TAKANAWA GATEWAY CITY 第Ⅱ期エリア（5・6街区）の確認調査報告

- (港区) 資料 1 について説明する。資料 1-1 は、5・6街区の確認調査で行ったトレンチ 9箇所の結果をまとめている。資料 1-2 には、トレンチ 7 で検出された張り出し遺構について掲載した。張り出し遺構の一部を手彫りで掘削したところ木材の一部が確認され、4街区の信号機土台部で確認された木材を十字に組んだ基礎構造の一部と類似している。今後は文献資料等から、この位置に構造物があったのかどうかを確認する段階に入る。
- (委員長) 質問、意見はあるか。
- (事務局 JR) この報告内容を、12 月の「『国際交流拠点・品川』における高輪築堤等の価値・あり方に関する有識者検討会議」においても報告してもらいたい。
- (委員長) 港区が実施している確認調査であり、見学会の資料としてオープンになるものは問題ないと思う。あとは港区の判断となるがいかがか。
- (港区) 公開資料を説明することは可能である。

- (小野田委員) さらに新たな進捗はあるか。
- (港区) 鉄道博物館より資料 1-3 の品川停車場の図面を提供いただいたことが新たな進捗となる。今後、重ね図を作成し、図面の場内信号機的位置が、今回トレンチ7で検出された張り出し遺構の場所と合致するのか検証することが次の段階となる。
- (小野田委員) 資料 1-3 は大正7年の図面であり、埋め立てが進んで構内が拡張された後のものとなる。信号機的位置も開業当初から変わっているだろうと思われる。大正3年に東京駅が開業し、大きく鉄道運行の様相は変わっている。この資料は距離の目安程度の扱いになると思う。
- (委員長) 今後検討する際の貴重なご指摘である。
- (古関委員) 資料 1-3 の図面について、各種線路の線形が開業期の単線の線形とどう重なるかわからないので整理してほしい。遠方信号機の上の方に点線が見えるが、これが石垣を示しているのか何を示しているのかどうか等、図面内にも色々と参考となる情報があるかもしれない。
- (委員長) 今回の確認調査ではトレンチを9本開けた。現在、工事ヤードとして使用している場所なのでかなり無理をお願いして進めており、記録を取ったらすぐ埋め戻すという形で協力いただいている。トレンチ1・2は、海側石垣の裾の部分とその外側の群杭を確認する予定であった。トレンチ3～7は深く掘るにはトレンチの幅が必要になるので浅くならざるを得ず、裏込め石を確認しようと進めてきた。私は、1～4街区の調査実績に照らして、裏込め石が残っていれば、下部の石垣も残っているだろうと考えている。開業期・複線化期の盛土を確認するためにトレンチ8・9を開削し、確認することができた。連立1工区では複線化期の盛土を確認できているため、おそらく築堤の幅を確定できと思う。トレンチ7の張り出し遺構は全く予想外だったが確認できて良かった。最終的には調査報告をまとめてもらい、それを基に委員会で協議を進める。
- (委員長) 他に何かなければ、次に進める。

(3) その他

- (委員長) その他は何かあるか。
- (委員長) 特になければ部会①を閉会する。

<部会①・部会②・部会③終了後>

- (委員長) 最後に文化財行政からコメントをもらう。
- (文化庁) 現地見学会について、港区ほか関係する皆様よろしくお願いします。
- (東京都) 現地見学会についてよろしくお願いします。調査成果が蓄積されてきたので、埋蔵文化財包蔵地の周知化について、引き続き港区と協議を進めていきたい。

- (港区) 前回委員会で、11 月 8 日(金)に確認調査速報をホームページにて公開すると発言したが、関係各所との情報共有に時間を要し、結果として 5 日後の 11 月 13 日(水)となったこととお詫びする。現地見学会は 12 月 8 日(日)、9 日(月)の 9 時から 15 時で開催する。12 月 3 日(火)には先行して報道機関向けに事前公開を実施し、既に NHK で報道もしていただき、昨日の時点で数件の問い合わせがあった。調査主体として港区が主催しているが、所有者である JR のご協力があったことで、限りなく共催に近い見学会であると認識している。改めて感謝申し上げます。また、見学者の待機場所等を提供いただいた京急、UR にも感謝申し上げます。当日お越しいただく方や従事される方は寒さ対策をお願いします。
- (事務局京急) 次回の定例委員会は、1 月 8 日(水) 10 時 00 分から、会場は JR 東日本現地会議室を予定する。お忙しい中貴重なご意見をありがとうございました。閉会とする。

(4) 閉会

以 上